

科目名	乳児保育 I				担当	西澤 智恵子		
形態	講義	単位数	2	開講時期	1 年前期	実務経験	保育士として保育施設で勤務経験有	
必修	保育士：必修				ナンバリング	Y3301	DP との関連	3
授業概要	乳児保育の意義や目的と歴史の変遷及び役割等を理解し、多様な保育の場における現状と課題について理解する。また、3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制を理解し、職員間の連携や協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育の意義や目的及び役割を理解する ・乳児保育の現状と課題を理解する ・3歳未満児の発育、発達を踏まえた保育を理解する ・乳児保育における連携や協働の重要性を理解する 							
授業計画	回	内容						
	1	乳児保育の意義・目的と歴史の変遷	乳児保育の意義や目的及び歴史について理解する					
	2	乳児保育の役割と機能	乳児保育に関する基本原則について理解する（調べ学習・ディスカッション・プレゼンテーション）					
	3	乳児保育における養護及び教育	「養護と教育を一体的に展開する」について理解する					
	4	乳児保育及び子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題	保育所における子育て支援に関する基本的事項について理解する					
	5	保育所及び児童福祉施設における乳児保育	多様な保育の場における保育を理解する					
	6	家庭的保育と家庭を取り巻く環境と子育て支援の場	保護者と分かり合う為に、どのような支援を行うのかを理解する（グループワーク・ディスカッション・プレゼンテーション）					
	7	3歳未満児の生活と環境	周囲の環境に好奇心や探究心をもって関わり生活に取り入れていこうとする力について理解する					
	8	3歳未満児の遊びと環境及び3歳以上児に移行する時期の保育	3歳以上児の生活に緩やかにつながるために大切にしていきたいことについて理解する（グループワーク・ロールプレイ・ディスカッション・プレゼンテーション）					
	9	3歳未満児の発育・発達を踏まえた援助や関わり①	発育発達を踏まえた乳児期の関わり方や身体及び運動の発達について理解する					
	10	3歳未満児の発育・発達を踏まえた援助や関わり②	発育、発達を踏まえた乳児期の関わり方や心の発達について理解する					
	11	3歳未満児の発育・発達を踏まえた援助や関わり③	発育発達を踏まえた乳児期の関わり方や言語機能の発達について理解する					
	12	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮	発育発達を踏まえた乳児期に適した玩具について理解し、グループで話し合いながら学びを深める（調べ学習・グループワーク・プレゼンテーション）					
	13	乳児保育の計画・記録・評価とその意義	カリキュラム・マネジメントについて理解する					
	14	職員間や保護者との連携・協働	職員間や保護者との相互理解について理解する					
15	自治体や地域の関係機関等との連携・協働	地域に開かれた保育所を目指し、人的環境も含めた連携協働の体制について理解する						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育の意義や目的、課題を理解しているか ・発育発達を踏まえた保育の内容を理解し、関係機関との連携の重要性を理解しているか 							
評価方法	授業態度 30% 期末試験 50% その他 20% （提出物・課題への取り組み方）							
フィードバック 方法	課題については、授業中に講評する							
アクティブラーニング	調べ学習・ディスカッション・グループワーク・プレゼンテーション・ロールプレイ							
教科書	『乳児保育』 待井和江・福岡貞子編／ミネルヴァ書房 『保育所保育指針』							
参考書	必要に応じて指示する							
履修条件	保育者を志そうとする初心を忘れず、乳児保育の意義と目的についてしっかりと学び真剣に取り組むことを望む							
授業外学習	授業計画で示された事項について日常的に好奇心を持ち保育所保育指針を読み深めること。授業で扱われた事項に関する学びと課題に取り組むこと。							
オフィスアワー	授業日に講師室で対応する							